

## 巻 頭 言



## 医学と科学とロマン

自治医科大学学長、東京医科大学客員教授

永 井 良 三

Ryozo NAGAI

医療や医学の話題が、連日メディアに登場している。実際、医療不信は根強く残り、地域医療のあり方は重要な政治課題となっている。また、医療費の増加のために、国民皆保険制度の将来に多くの人が不安を感じている。一方、山中伸弥教授のノーベル賞受賞を喜び、再生医療に夢を託す国民は多い。このように状況が大きく変化する時代にあつては、医学と医療のあり方を常に問い直す必要がある。

人々が安心して地域で生活できるのは、医療が保障されているからである。しかしながら医療保険が破綻すれば、医療は成立しない。そのような状況になれば、わが国の医学は支持基盤を失う。いまや臨床医学と地域社会は、相互依存の関係にあるといえる。

近代医学がわが国に導入されたのは約 150 年前である。おりしもヨーロッパでは、「科学に基づく医学」が叫ばれていた。しかし科学といってもさまざまである。多くの基礎科学が社会に関心をもたなくても研究できるのに対し、医学は社会の中で研究し実践する。とくに臨床医学は、患者を対象として、その恩恵とリスクを評価しなければならない。臨床医学が科学に基づくことは疑いないが、科学のみに関心を払っていると患者は救われない。そもそも科学的医学は法則性の発見が重要なのであって、個々の患者にはあまり関心を払わない。これに対し、臨床医学が対象とする現実世界は予測困難な現象が中心であり、理屈は後からやってくる。

現実世界は、夢と希望、失意と挫折に満ちている。ロマンを求めて人々は生きていくが、ロマンは気まぐれであり、ときに凶暴な姿に変貌する。生老病死もこうした世界に属する。これを全体として把握して制御しようとするのも人間のロマンである。ロマンに駆られた医学者は、病気や社会の仕組みを実証的に解明しようとしてきた。しかし理論を現実社会で実践しても、想定したようには動かない。そのため医学・科学と社会は、愛憎半ばする関係を築いてきた。医療不信が容易に解消されないのも、やむをえないわけである。

いまや医療は、エネルギー問題や環境問題と同様、社会や国家の持続性を左右する重要な存在である。社会における医学や医療のあり方を適切に把握しないと、これからの時代を乗り越えることはむずかしい。社会の信頼のもとに医療を実践できる仕組みをいかにして構築するか、そのために必要な医学教育や病院の運営とは何か、これはまさに「医学とは何か」という問いであり、医学界全体でもう一度考える必要があると思う。

## 略 歴

永井良三（ながい りょうぞう）NAGAI Ryozo

昭和24年6月12日生

昭和49年9月	東京大学医学部医学科卒業
昭和50年1月-51年12月	東京大学医学部附属病院内科研修医
昭和52年1月-52年7月	東京女子医大付属心臓血圧研究所研修生
昭和52年8月-58年6月	東京大学医学部附属病院第三内科医員
昭和58年7月-62年12月	米国バーモント大学留学
昭和63年1月-63年6月	東京大学医学部附属病院第三内科医員
昭和63年7月-平成3年4月	東京大学医学部附属病院検査部講師
平成3年4月-5年3月	東京大学医学部第三内科講師
平成5年3月-7年3月	東京大学医学部第三内科助教授
平成7年4月-11年10月	群馬大学医学部第二内科教授
平成10年4月-13年3月	東京医科歯科大学難治疾患研究所客員教授
平成11年5月-24年3月	東京大学大学院医学系研究科内科学専攻循環器内科教授
平成13年4月-15年3月	東京大学医学部附属病院副院長
平成15年4月-19年3月	東京大学医学部附属病院長
平成21年7月-24年3月	東京大学トランスレーショナルリサーチ機構長
平成22年3月-現在	最先端研究開発支援プログラム「未解決のがんと心臓病を撲滅する最適医療開発」中心研究者
平成24年4月-現在	自治医科大学学長
平成24年4月-現在	東京大学医学部 名誉教授
平成24年4月-現在	科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 CREST 「生体恒常性維持・変容・破綻機構のネットワーク的理解に基づく最適医療実現のための技術創出」研究総括
平成24年8月-現在	東京医科大学客員教授

## 受 賞 歴

昭和57年3月	日本心臓財団 佐藤賞
平成10年11月	ベルツ賞
平成12年10月	持田記念学術賞
平成14年7月	日本動脈硬化学会賞
平成18年11月	日本医師会医学賞
平成21年5月	紫綬褒章
平成22年3月	日本心血管内分泌代謝学会 高峰譲吉賞
平成24年8月	European Society of Cardiology (ESC) Gold Medal

## 専 門

循環器病学

## 主な所属学会

日本循環器学会（代表理事）、日本内科学会（評議員）、日本心臓病学会（理事）、  
日本動脈硬化学会（理事）、日本臨床分子医学会（理事長）、International Society of  
Heart Research（Council member）